

中舞鶴の歴史・くらし探検隊 活動ニュース

創刊号

発行 平成27年6月17日

編集 中央公民館

舞鶴市字余部下1167

中舞鶴の魅力再発見へ、探検隊スタート

参加申込は17人

第1回会議で活動テーマ協議

6月12日午後7時から、中央公民館で、「中舞鶴の歴史・くらし探検隊」の第1回会議を開催。「まち探検」の目的や目標等を確認した後、参加者一人ひとりが自己紹介を兼ね参加動機を披露。その後、グループに分かれて探検テーマを検討するとともに、当面の活動計画を決定しました。当日の参加者は申込者17人のうち12人。

探検隊の活動概要を「活動ニュース」としてお届けします



▲初会合の勉強会。探検隊の目的を確認し、今後の活動などを協議（6月12日、中央公民館）

探検隊の目標等

- ・ふるさと中舞鶴の歴史や生活文化に誇りを持ち、小学校の“校区探検”等で案内役となる人材を育てる。
 - ・探検で明らかとなった地域資源や問題点を整理するなかで、地域課題の解決に取り組む人材の育成（地域力の強化）につなげる。
- ⇒活動のまとめ：探検の成果を参加者が協力してパネル等にまとめ、中央公民館などで展示（予定）



「右」と相川さん（左）指導・助言をいただく直田さん

当面の活動計画

当面の活動予定は次のとおりです。

▽座学① 6月23日（火）19:00～21:00

テーマ「地名の勉強」（講師：井本精一さん＝探検隊参加者）

次回実施の方法の協議、雨天時の対応協議

▽まち探検① 6月28日（日）9:00～12:00

試みに余部上地区を探検してみる。

以降は、第1回座学や探検結果をもとに検討。

■欠席される場合は、事務局（Tel62-0400）にご一報ください。

助言者を紹介

地域づくりの専門家で舞鶴市とかかわりのある次の研究者に指導・助言をお願いしています。今後、探検とまとめの時期に各1回程度ご指導をいただく予定です。

直田春夫氏（NPO政策研究所理事長＝市文化振興基本指針推進懇話会委員＝副会長）

相川康子氏（NPO政策研究所主任研究員）

■助言者の発言から

「地元学は未来志向の取り組みである。人は自分の住む所には何もないというのが、実はそうではない。地元の人が主体となって地域の宝物、資源を見つめ直してまちをつくって行ってほしい。」

提案された活動テーマ

2班に分かれてグループワークを行ったところ、様々なテーマができました。

【1班】

民話・伝承 松尾縣空 歴史／長江寺の歴史／和田の古道探検／竜宮城から五老へロープウェイを／和田 竜宮城の再生／民話を知りたい／安寿と厨司王の物語

歴史 中舞鶴の歴史／余部の文化財、神社仏閣／高倉神社の歴史 山へ／中舞鶴の産業（軍が来る前、戦前、戦後）／中舞鶴と外国との関係／五森について／五老 花回廊の道／本町通、中町、榎川の由来／真宗寺とロシア戦争の慰霊／光秀稲荷

山城 中舞鶴に城はあるか／奥母の山城／余部の山城

海軍など 軍人と産業／鎮守府の施設／自衛隊の歴史を知りたい／東郷邸の戸が部屋別にあるのはなぜか／戦前の軍隊が壊したもの／戦後の米軍の施設とくらし

くらし 近代 中舞鶴線と利便性／軍港ができる前と、できてから、戦後の中舞鶴を知りたい／乗り物／食べもの／商店を知りたい／余部の祠の探検／小中一校の子供のくらし、良い事と悪い所／気候／大きな事件・事故

共楽公園 共楽公園の流れ／アロハ桜のことを知りたい

水の行方 中舞鶴発祥の水源について聞きたい／榎川の流れを調べてみたい

その他 ホフマンについて／有名人

【2班】

神仏 ←古老に聞く 戦前の祭りや行事←宮司さんに聞く、グループヒアリング／氏神 高倉神社の歴史／若宮神社の歴史／中舞鶴の歴史、寺の歴史／史跡マップ今昔

年表・市の歴史・聞き取り 中舞鶴の人口が増えた理由

弥生～戦国 中舞鶴に初めて住みついた人／余部上のルーツを探検したい／余部の古代史研究／戦国時代はどうだった／中舞鶴に残る史跡／地名を調べる／加津良の地名（字名がない）／廓の跡

消えた村 五森 ←文書、聞き取り

海軍（鎮守府設置前は）何で発展していったのか／海軍工廠・造船所の発展

街並み・道路 ←新・旧の地図の比較、昔の写真 残っている道路／明治中期の都市計画で道路が広がった。この前後のこと／中舞鶴線の歴史とバスの発展／昔の国道はどのようであったか／榎川の形態

くらし・商業・家・住まい 余部大変革期の明治／余部上地区居住形態の変化／明治時代の店舗の様子

ひと 布川家のお室／瀬野家←詳しい人を探す

学校 中舞鶴小学校の歴史を調べれば地域の歴史が見えるのでは←子供たちに調べてもらう、世代格差を楽しむ

自然 中舞鶴の花／余部の自然（植物）

その他 榎川の源流を見たい／建物・民家 ←まち歩き



▲まち探検のテーマ抽出のため、2班に分かれてグループ討議

全体討議

1班と2班の発表後、全体討議を行い、当面（2～3回）の計画を決定しました。
(1ページ参照)

■主な意見等

▽まずは地名を知るべき。地名の由来を知って、それからまち歩きをするのがよい。地名学は私が講師となれる。

▽昔からある家さがし、お地蔵さんさがしもある。

▽水の行方～人の住まい生活を知るをやりたい。

▽鎮守府設置前、戦前、戦中のくらしを知る
⇒講師から：WHO？誰がやるかを念頭に。関連書物から探す、郷土史家から学ぶ必要がある。

▽鎮守府設置で消えた集落（五森）や神社仏閣の由来 ⇒ 古老を探す、住職から話を聞く必要がある。

事務局から 隊員間の情報共有と情報発信のため、探検隊ニュース創刊号を事務局で編集しました。次号からは隊員の皆さんと一緒に作りたいと思います。次回の座学で提案させていただきます。皆さんの投稿も大歓迎です。

参加者アンケートから(回答10人/出席12人)

質問1. 今回の勉強会はいかがでしたか？

【回答】①大変有意義だった（3人）、②有意義だった（7人）、③もの足りない（0人）、④非常に不満足0人⑤その他（0人）

質問2. 勉強会の内容はよく理解できましたか？

【回答】①よく理解できた（3人）、②ある程度理解できた（7人）、③あまり理解できなかった（0人）、④全く理解できなかった（0人）、⑤その他（0人）

質問3. 今日の勉強会で発言できなかったことや、強調したいことが(自由記述)

▽たくさんあるので、もっと知りたかった。▽風の人の視点が必要では？ ▽我々の活動が地域の方に興味を持ってもらえるだろうか。▽埋め立てでの変化。

質問4. 今後の探検活動への意見・提案があればご記入ください(自由記述)。

▽海軍施設が出来る前・後の目まぐるしい変化を多方面から、ぜひ勉強したい。▽入ることが出来ない所も見学したい。▽テーマを欲張らずに、いくつかに決めたい。

▽新聞に載る活動をしたい。

質問5. その他(自由意見)

▽歴史の中の暮らし、昔の地図や資料も探したい。▽今後の方向性が分かった。▽探検の班割りが必要。